

## 【概要】

### ✦名称

宗教法人日本キリスト教団菊名教会  
附属 菊名愛児園

### ✦所在地

横浜市港北区菊名4-5-1

### ✦保育時間

7:30~19:00

### ✦定員

115名

### ✦休園日

日曜日、祝祭日、年末年始

(12月29日~1月3日まで)

### 【クラス編成】

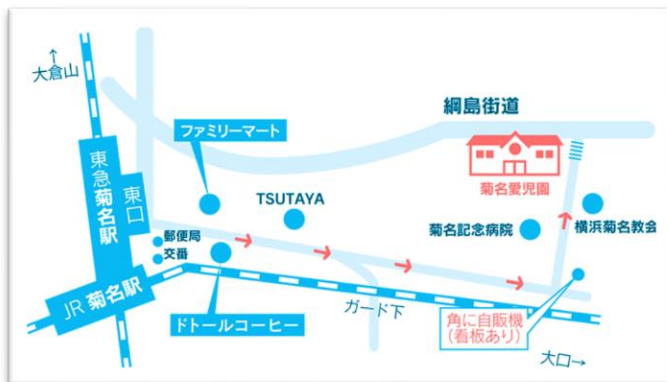
年齢	クラス名
0・1歳児	すみれ組
2歳児	すずらん組
3.4.5歳児 縦割りグループ	つきグループ
	ほしグループ
	ひかりグループ
	にしグループ

縦割りクラス	3歳児	たんぽぽ組
	4歳児	ぼら組
	5歳児	きく組

\*3歳から5歳児は、異年齢混合グループで保育を行っています。

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
7人	13人	20人	25人	25人	25人

## 【ご案内図】



### 【交通とお問い合わせ】

#### 《所在地》

〒222-0011 横浜市港北区菊名  
4-5-1  
東急東横線・JR横浜線「菊名」駅東口より  
徒歩7分

#### 《お問い合わせ》

TEL 045-401-0431

FAX 045-431-6909

URL <http://www.kikuna.jpn.org/aijien/index.html>

Email: [kikuna-aijien@nifty.com](mailto:kikuna-aijien@nifty.com)

\*お車でお越しの際は、向かいの菊名教会  
駐車場をご利用ください。

宗教法人日本キリスト教団菊名教会附属

きくなあいじえん  
**菊名愛児園**



† 神を愛し 隣人を愛する †

創立 1942年6月15日

心と身体の健康を高めていく

† 愛児園の保育 †

当園は、菊名の閑静な住宅地にあり、園児数 126 名職員 40 名の保育園です。毎朝礼拝を行い、幼児クラスは週に 1 回教会の牧師から聖書のお話をききます。晴れの日には毎日散歩に出掛け、夏は 2 か月間、屋上でフール遊びをすることが日課になっています。0 歳から 2 歳は年齢別保育、3 歳から 5 歳は、4 グループ約 20 名で縦割り保育を行っています。年齢を越えた関係作りには多くの効果が見られ、兄弟姉妹のようにお世話をしたり、手伝ったりしながらそれぞれの個性を發揮しながら一緒にすごしています。

給食は自園献立で提供しています。できる限り国産の素材を使用しています。屋上菜園で収穫した野菜を使い、季節感のあるメニューを取り入れています。

子どもたちが安心して一日を過ごせるように保護者のみなさまとの連携を大切にしながら保育を行っています。

✧職員体制✧

施設長	1人	看護師	1人
保育士	25人	事務員	2人
栄養士	1人	用務員	1人
調理員	3人	保育助手	6人

✧保育時間✧

【開園時間】

月～金曜日 7:30～19:00

土曜日 7:30～15:30

【慣らし保育】

入園後園生活に慣れるまで、慣らし保育の期間を設けています。子どもの様子、事情に応じて 1 週間から 10 日程度

行います。

✧主な年間行事✧

4月 入園進級式

5月 親子遠足

6月 子どもの日・花の日礼拝

7月 フール開い

宿泊保育 対象:5 歳児

児

10月 運動会 幼児バス遠足

11月 収穫感謝礼拝

12月 クリスマス会

クリスマスペイジェント対象:5 歳児

1月 お餅つき

2月 きく組のつどい

3月 きく組を送る会

空園式

✧子育て支援✧

\* 園庭開放 第2・4火曜日 10:00～11:30

\* 交流保育・ランチ交流

リズム遊び・お餅つきなど

\* 育児相談 0 歳児～就学前 園庭開放時

※いずれも要予約

✧沿革✧

菊名愛児園は宗教法人日本キリスト教団横浜菊名教会の附属施設として 1942 年 6 月 15 日に創立され、今日に至るまで一貫してキリスト教主義による保実践してきました。港北区内では最も伝統のある保育園です。

✧基本理念✧

「神を愛し 隣人を愛する」

✧保育方針✧

1. 愛を育む
2. 個性を育む
3. 社会性を育む
4. 心身を育む

✧保育目標✧

1. 神様を信頼し、安心して日々をすごすことができるようにする
2. 子どもたちが明るくのびのびと園生活を送り、日々成長できるように保育を行う
3. 生き物や植物など、身近な自然と触れ合うことによって、命の大切さを感じることができる環境を作る
4. 豊かな感性を育て、自由に表現できる力を養う
5. 異年齢の子どもたちが共に生活することによって、自立心や優しさ、いたわり、そして信頼を持つことの大切さを育てる
6. 国や文化の違い、成長の違い、育った環境の違いを尊重し、豊かな社会を体験できるようにする
7. 日常の保育の中で、食べることや運動することを大切に、